

令和5年度
社会福祉法人奥州市社会福祉協議会
事業報告書



自 令和5年4月1日 至 令和6年3月31日
社会福祉法人奥州市社会福祉協議会

令和5年度社会福祉法人奥州市社会福祉協議会事業報告

令和5年度は、コロナの影響で停滞していた自治会活動等が徐々に回復に向かい、感染対策に配慮した地域交流やサロン活動も再開し、地域福祉活動も活気づきました。

奥州市社会福祉協議会が実施するふれあいきいきサロンでは、令和5年度は、延 34,521 人の方が参加し、前年度と比較して 1.25 倍の伸びが見られます。また、地域セーフティネット会議と連携して取り組まれる地域の生活支援でも、令和5年度は、延 2,551 人が要支援者の除雪や草刈り、ゴミ出しなどをを行い、前年度の 1.24 倍となりました。

こうした活動は、福祉活動推進員（行政区長）や民生児童委員、ご近所福祉スタッフの参加や連携、支援により成り立っており、市街地では孤立する要支援者の発見や交流の場づくり、中山間地では除雪や買い物の生活支援などの例も見られ、地域独自の課題に向き合って実践されます。

地域共生社会の実現をめざす「奥州市地域福祉活動計画」は、5か年計画の3年目でしたが、重点事項の「地域セーフティネット会議」では、市内 72.7% の行政区が取り組み、地域の困りごとを抱える世帯を把握し、話し合い、見守りや生活支援への参加につなげる機会としての成果が見られました。

一方、効果的・効率的な組織運営をめざす「発展・強化経営計画」も3年目ですが、支所業務の本所集約による効率化がさらに進み、住民との協働を集中的に行う環境が整いました。また、ささえあい協賛金の会費への一元化の検討では、本会より諮問を受けた財政検討委員会の答申を受けて、ささえあい協賛金を会費に一元化し、地区福祉推進組織に対する助成金を市全域同じ基準とするなどの検討をしました。

少子高齢化、人口減少、世帯の少人数化などにより、一緒に暮らす家族や身寄りがない要支援者、助けを求めない、困りごとを自覚できない一人暮らしなどの生活課題も見られます。令和5年度は、この生活課題の把握と解決に向けて、福祉サービスとともに近隣で支えあう仕組みづくりのため専門職による地域支援や個別支援に取り組みました。

1 重点事業の実施状況

（1）地域共生社会の実現を重点とする「第3次奥州市地域福祉活動計画」の取り組み

①誰もが安全・安心に暮らせる地域づくり

地域の支え合いの中で「ちょっとした困りごと」へ対応できる仕組みを構築するため、地域セーフティネット会議に福祉活動専門員（CSW）が出席し、運営の支援や相談体制の構築を行いました。その結果、市内 333 行政区のうち 242 行政区で取り組みが行われ、地域ニーズに合わせた除雪やゴミ出し・買い物支援などが広がり、生活支援に対応できる体制づくりが充実しました。

②地域の福祉を支える仕組みづくり

地域共生社会の実現に向けて社会福祉法人の地域貢献や連携を図るため、市内 18 法人にによる「奥州市社会福祉法人連絡会」を 2 月に設立し、今後は、地域における公益的な取組みや共通する課題の解決などに取り組みます。

③市民の暮らしや活動を支える体制づくり

市民の地域福祉活動に対する考え方や、社会福祉協議会へ期待することなどの把握を目的にインターネット等を活用したアンケート調査を実施し、1,299件の回答から、地域福祉活動や高齢者の生活支援、子育て支援などへの期待が高いなどの結果が得られ、活動を支える体制づくりの参考としました。

(2) 効果的・効率的な組織運営をめざす「発展・強化経営計画」の実践

①信頼ある組織・機構づくりと事業推進体制の見直し

支所業務の本所集約による効率化が進み、住民との協働を集中的に行う環境が整いました。また、支所業務のスリム化に伴い、本所からの応援体制による効果的な人員配置を行いました。

②法人運営と職員管理・育成の強化

職員の能力や役割分担に応じたキャリアパス構築に向け各課の外部・内部研修の体系を検討しました。また、働きやすい環境づくりの一環であるハラスマント対策では、リーフレット配布によるハラスマント防止に向けた啓発活動に努めました。

③効果的な事業運営と財政基盤の確立

保有財産の利活用のため、修繕対策などの施設長寿命化を検討しました。また、ささえあい協賛金の会費への一元化では、財政検討委員会の答申を受けて、ささえあい協賛金を会費に一元化し、地区福祉推進組織に対する助成金を市全域同じ基準とするなどの検討をしました。

④ニーズに基づいた事業展開と評価及び支援体制の確立

地域福祉事業と連携した介護サービスの提供に向けて、検討をはじめました。

2 新規事業の実施状況

(1) BCP（事業継続計画）の策定

自然災害や感染症など緊急事態に備えて、損害を最小限にし、事業継続や早期復旧を図るための平時の活動や緊急時の事業計画の方法など本会の全施設、組織を対象に策定しました。

(2) 生活課題を抱えた世帯と地域福祉活動をつなぐ事業

ペット等の多頭飼育を原因とする生活課題、ゴミ屋敷等に対し、地域との関わりの機会を与え、その後の関係づくりを構築するため、自治会に助成金を交付し課題を抱えた世帯に対する支援を行いました。

(3) サードプレイス事業

主に不登校児童を対象に、家庭でも学校でもない第3の居場所をサードプレイスとして、みなみ放課後児童クラブ、ときわ放課後児童クラブ、奥州市総合福祉センター地域交流室を使用し、事業を実施しました。

(4) 新たな生活支援体制の構築

奥州金ヶ崎地域権利擁護あんしんセンターでは、市民後見人養成講座修了者のうち成年後見制度の担い手として活動する市民後見人を候補者名簿に登録し、死後事務委任契約や任意後見契約に向けた職員研修を行いました。また、生活困窮者自立支援事業では、若年ひきこもり世帯の支援体制構築に向けて、市内高等学校を訪問するなど状況把握を行いました。

No.	担当課	部門	事業名等			内 容	重点項目(★)
			大区分	中区分	新規事業 地域 福利 活動 計画		
1	総務財政課	総務	理事会	理事会 役員協議会 理事 14 名、監事 3 名で構成し、法人業務執行の協議、決定を行った。 統計画(BCP)の策定、一般会費とささえあい協資金の一元化の方針について協議した。	10回 2回		
2	総務財政課	総務	評議員会	評議員 27 名で構成し、法人の議決機関として、役員の選任、予算・決算、定款変更、事業計画及び事業報告を議決した。	5回		
3	総務財政課	総務	三役会議	会長、副会長及び常務理事により法人業務を協議した。	15回		
4	総務財政課	総務	部会・委員会等 の開催	委員会 ボランティア・市民活動センター運営委員会、法人後見運営委員会、財政検討委員会等事業推進に 必要な委員会を設置し、専門的な事項について協議した。 三役・地域福祉推進協議会委員長合同会議 (4/12) 職員人事委員会 (6/15、9/29、11/24、3/18)	1回 4回		
5	総務財政課	総務	事業評価委員会 の開催	地域福祉事業の国庫補助の受託 令和 6 年度から奥州市重層的支援体制整備事業「多機関協働事業」の受託を決定した。 各種事業等を見直し、廃止事業等の関係機関・団体との交渉 胆江地区広域交流センターを令和 5 年度末で受託終了とした。		○	
6	総務財政課	総務	適正規模の職員 配置	本所 5 課体制を維持しながら、業務の効率化や職員の適材適所の配置をさらに進めた。		○	
7	総務財政課	総務	事務事業の効率 性と機能性	法人の経費削減や業務効率化に向けて、年末調整の電子化の実施や、コピー機再リースの法人内活用 を行った。		○	
8	総務財政課	総務	組織機構の再検 討	本所 5 課体制の継続により業務の効率化を図り、安定した体制が構築された。また、支所業務の本所 集約が進み、住民との協働を集中的に行う環境が整った。支所業務のスリム化に伴い、本所からの応援 体制による効果的な人員配置を行った。		★	
9	総務財政課	人事	理事の明確化と 選出区分等の検 討	改正後の新たな役員等選任規程に基づき、理事 14 名を選任した。 知識経験者 5 名、社協実情に通ずる者 3 名、団体役職員 1 名、ボランティア団体 1 名、行政 1 名、 学識経験者 3 名		○	

No.	担当課	部門	事業名等		内 容	重点項目(★)
			大区分	中区分		
10	総務財政課	人事	後員研修・職員研修の実施		研修実施計画の研修体系に基づき役職員の資質向上のため、職場内研修及び派遣研修に取り組んだ。 基本研修：全職員共通 (内部研修) ・奥州市社会福祉協議会職員研修 (2/7 37名) ・安全運転講習会 (10/16・17・20・25 全職員) 職階層別研修：初任者、中堅者、管理者 (内部研修) ・奥州市社会福祉協議会新任職員等研修会 (5/11 12名) (外部研修) ・新任研修 (2名)、リーダー研修 (2名)、管理職研修 (1名) 専門研修：地域福祉、生活支援、権利擁護、介護、児童等の分野ごと (内部研修)	
11	総務財政課	人事	人材育成の充実		職員の職業生涯の進路・道筋を示すようなキャリアパスの導入に向けて研修体系を検討しはじめた。 また、人材育成の充実のため内部、外部研修を実施した。	★
12	総務財政課	人事	働きやすい環境づくり		働きやすい環境の一環としてハラスメント対策に取り組み、ハラスマントアンケートの結果周知、リーフレットの配布などをを行い、防止に努めた。 ハラスマント対策委員会開催 (4/20、2/13) 2回	★

No.	担当課	部門	事業名等			内 容	重点項目 (★)
			大区分	中区分	新規事業		
13	総務財政課	経理	財務経営管理	効果的な財務経営管理を図るため、支所ごとに依頼と集約をしてきた一般会費（住民会費）とささえあい協賛金の事務を、本所一括で行い、効率化を図った。 ・会費実績 30,196,300円 ・住民会費 28,884,300円、施設団体会費 104,000円、法人賛助会費 1,208,000円 ・寄付金実績 10,483,522円 一般寄付 3,993,122円、指定寄付金 835,000円、ささえあい協賛金 5,655,400円			
14	総務財政課	経理	安定した財源確保のための取組み	企業協賛による事業を選定し、企業から協賛を得られる仕組みを検討したが、現行の事業所賛助会費や募金の充実の方向に改め、今後は社協の事業適當に協賛を得られるような開拓方法を検討することにした。		○	
15	総務財政課	経理	公的財源減に対する保有財産の利活用方針の設定	老朽化が進む奥州市総合福祉センターと胆沢総合福祉センターの利活用と施設の長寿命化に向けて、長期的な修繕計画の方向とすることを検討した。		★	
16	総務財政課	経理	販売機の設置事業	奥州市総合福祉センター、江刺総合コミュニティセンターに自動販売機を設置し、売上手数料の益金を福社活動に役立てた。 福社活動台数 2台 手数料収入 148,767円			
17	総務財政課	経理	会費・ささえあい協賛金の一元化	財政検討委員会の答申を受けて、ささえあい協賛金を会費に一元化し、地区福祉推進組織に対する助成金を市全域同じ基準とすることなどの検討を行った。		★	
18	総務財政課	企画	広報活動の推進	社会福祉協議会広報紙「おうしゅう福祉だより」を発行し、福祉活動啓発を図るとともに、市民の参画を促進した。また、企画編集の手法や掲載イラスト等を工夫し、読みやすく分かりやすい内容の広報紙づくりに取り組んだ。 ・広報紙「おうしゅう福祉だより」の発行 年間4回発行 ・マスマディア等への適時適切な情報提供 ・ホームページの活用 ・民間活動財源の紹介と助成申請事務の支援 ・本会イメージキャラクターのフレイバーの積極的な活用			
19	総務財政課	企画	社会福祉法人の地域貢献活動のネットワーク構築支援	地域共生社会の実現に向けて社会福祉法人の地域貢献や連携を図るため、市内18法人による「奥州市社会福祉法人連絡会」を2月に設立し、地域における公益的な取り組みを今後検討することにした。 ・奥州市内社会福祉法人連絡会（反称）設立準備会 11/20、1/25 ・奥州市社会福祉法人連絡会設立会議・奥州市社会福祉法人連絡会設立総会 2/14		★	

No.	担当課	部門	事業名等		内 容	重点項目(★)	
			大区分	中区分		新規事業	地域福祉活動計画
20	総務財政課	企画	BCP（事業継続計画）の策定		自然災害や感染症など緊急事態に備えて損害を最小限にし、事業継続や早期復旧を図るために「奥州市社会福祉協議会事業継続計画」について策定した。	★	
21	総務財政課	企画	地域福祉推進協議会や地区振興会及び自治会との協働による事業推進		三役・地域福祉推進協議会委員長合同会議（4/12） 協議内容 会費等の検討に係る財政検討委員会設置に伴う委員の推薦		
22	総務財政課	企画	福祉活動推進員 設置事業		市内の行政区長に福祉活動推進員を委嘱し、住民福祉の増進と地域福祉の推進に協力をいただいた。 ・奥州市 333人委嘱（水沢 112人・江刺 92人・前沢 50人・胆沢 49人・衣川 30人）		
23	総務財政課	企画	福祉サービス苦情解決事業		本会が提供する福祉サービス等に対する苦情への適切な対応と解決により、利用者が福祉サービスを適切に利用できるよう取り組んだ。 ・第三者委員を6人に委嘱 ・事業所ごとに苦情受付担当者を設置 ・福祉サービス適正化推進会議 第1回会議 7/28 第2回会議 1/26 ・苦情解決研修（外部研修） ・福祉サービスの苦情を考えるセミナー（7/14 4名） 奥州地域福祉サービス苦情解決情報交換（8/10 2名）		
24	総務財政課	企画			本市の社会福祉の向上に尽力され、多大な功績を残された方々を顕彰し、特別講演等により福祉活動への共通認識と理解を深め福祉意識の醸成を図った。 期日 10/12 会場 奥州市文化会館 大ホール 被表彰者 120名・23団体 記念講演 「ダウン症の娘と共に生きて」 書家 金澤泰子（かなざわ やすこ）氏 参加人数 約1,000名		
25	総務財政課	企画	奥州市社会福祉 大会の開催		市民や町内会等の自治組織やボランティア団体等、関係団体や機関による地域生活課題の解決に向けた検討、奥州市地域福祉活動計画の進捗評価と提言を行うため会議を行った。 ・第1回奥州市地域福祉推進市民会議及び奥州福祉推進市民会議 期日 6/29 内容 奥州市地域福祉計画、奥州市地域福祉活動計画について		

No.	担当課	部門	事業名等			期日 1/31	内 容	重点項目 (★)
			大区分	中区分	新規事業			
						・第2回奥州市地域福祉推進市民会議及び奥州福祉推進市民会議		
26	総務財政課	企画	共同募金運動への協力		地域福祉活動の重要な財源である共同募金事業との連携協力を図った。また、共同募金運動の必要性を子どもや地域に理解されるよう、情報発信に努めた。			
27	総務財政課	企画	総合福祉センターの経営		・赤い羽根募金 目標額 25,000,000円 実績額 22,167,959円 目標達成率 88.7% 募金件数 1,130件 ・歳末たすけあい基金 目標額 14,000,000円 実績額 12,620,303円 目標達成率 90.1% 募金件数 948件 ・災害義援金 地震や台風、豪雨被害等 1,487,971円			
28	総務財政課	企画	胆沢総合福祉センターの経営		市民の福祉増進と福祉意識の啓発を図り、地域福祉活動を総合的に推進するための活動拠点として運営を行った。			
29	総務財政課	企画	胆沢バス運行事業		所在地 奥州市水沢南町 利用件数 1,248件 利用人員 13,034人			

No.	担当課	部門	事業名等			内 倉	新規事業	地域福祉活動計画	発展強化経営計画	重点項目(★)
			大区分	中区分	事業名等					
30	総務財政課	企画	胆江地区広域交流センターの管 理事業		佐倉河仙人地内のごみ焼却熱利用の入浴、温水プール、軽運動の設備のある保養施設の管理運営を行 つた。	利用状況				
31	総務財政課	企画	江刺高齢者生産 活動センター		大人300円、子ども100円／月曜休館	活動状況	高齢者の経験や技術を生かした就業機会の増大を図り、生きがいを高めるため、高齢者の生活活動を 推進し、山村地域の振興を図った。	主な製作作品	植木鉢、花びん、皿、茶碗、コーヒーカップ 塵取り、花台、玩具、ミニ籠笛、将棋盤 かご、筆立て、ざる、ふご、手さげカバン 梅濱け	
32	総務財政課	企画	前沢バス(ハート バス)運行事業		第1回運営委員会 6/14 第2回運営委員会 2/28	運営委員会の開催	奥州市公共交通であるデマンド型乗合交通を運行した。主な利用者は、自家用の交通手段がないため 公共交通機関に頼らざるを得ない高齢者等で、通院や買い物に利用した。 ・大人1回300円、小学生1回150円、乳幼児無料(算がい手帳・運転経歴証明書所持者は半額) 運行日数 243日(土・日曜日、祝祭日及び年末年始を除く毎日) 利用人数 12,274人 ・運行委員会の開催 6/22、12/11、3/12			
33	地域福祉課	地域 共生 支援 支室	小地域ネットワ ーク事業		「だれもが住み慣れた地域で安心して暮らしことができる福祉のまち」をつくるため、地域ニ ーズの把握や検討、情報共有の場として「地域セーフティネット会議」を開催し、住民と関係機関との 連携を図り福祉コミュニティの活性化を進めた。また、地域福祉活動を推進する団体に対し、ネットワー ーク活動やふれあいきいきサロノ活動等の取組みに対する助成金の交付を行った。	○ ★				

No.	担当課	部門	事業名等			内 容	重点項目(★)				
			大区分	中区分	事業名等						
			支えあ い事業 「にこ にこネ ット」 事業		地域の要援護者に対する見守りや安否確認等、市民相互のささえあい活動の支援を行った。また、ネ ットワーク活動やサロンを通じて、居場所づくりや生活支援などの地域福祉活動を推進する団体に助成 金の交付を行った。 実施行政区：242 行政区、助成金額：4,410,000 円		○ ○				
			地域セ ーフテ ィネット 会議		区分 水沢 小地域ネット ワーカー活動	江刺 85 行政区 1,380,000 円	前沢 52 行政区 995,000 円	胆沢 38 行政区 935,000 円	衣川 17 行政区 365,000 円		
			ふれあ い・い きいき サロン 事業		地域セーフティネット会議へ福祉活動専門員（CSV）が出席し、運営の支援を行ながら、地域ごとに抱える課題の把握や要援護者の情報共有の場として会議が進められた。 実施行政区：242 行政区/333 行政区（実施率 72.7%）		○ ○				
					水沢 85 行政区	江刺 52 行政区	前沢 50 行政区	胆沢 38 行政区	衣川 17 行政区		
					ござん茶 地域食堂「ごちそうさま」 ひとり暮らし高齢者の会食や子ども食堂など「食」を通じた多世代の交流の場づくりに対して助成 を行った。		○ ○				
					地域 福祉活動 計画	地域 水沢 実施 力所数 実施 回数 参加 人数 地域 食堂	江刺 47 力所 1,322 回 16,562 人	前沢 43 力所 549 回 4,703 人	胆沢 61 力所 576 回 6,206 人	衣川 8 力所 661 回 1,189 人	合 計 244 力所 3,227 回 34,521 人
					新規 事業 計画	地域 行政区 回数 参加 人数	江刺 6 行政区 62 回実施 732 人	前沢 4 行政区 93 回実施 960 人	胆沢 1 行政区 12 回実施 780 人	衣川 7 行政区 101 回実施 213 人	合 計 24 行政区 339 回実施 801 人
					発展 強化 経営 計画						

No.	担当課	部門	事業分	事業名等	内 容	重点項目 (★)	
						新規事業 地域福祉活動 計画	実施経営 計画
				生活支援事業	地域ニーズに合わせた除雪やゴミ出し・買い物などの生活支援の取組みに対し助成を行った。 実施数行政区：178行政区/333行政区（実施率53.4%）		○ ○
				住民支援事業	地域セーフティネット会議の場において生活課題や要援護者の把握のためマップ作成更新の支援を行った。 ・取り組み数 10行政区		○ ○
				抜けのない実態把握	かたりあいの輪幅福祉懇談会 市内30地区で懇談会を開催し、「ウイズコロナ」から「アフターコロナ」へへ新しい未来に向けて明日からできるアクション～をテーマとして開催した。令和4年度に実施したかたりあいの輪幅福祉懇談会のアンケート結果から分析した「地域で優先的に解決すべき課題」や「地域セーフティネット会議の取り組みの効果」等について報告した。懇談では優先的に解決すべき課題をテーマに地域の理想の姿、理想の姿を目指すために必要なことなどについて各地区でワークショップを行った。 実施期間 8/29から12/15まで 参加者数 延べ781名 ワークショップ意見 870件 市民を対象とした意識調査 市民の地域福祉活動に対する考え方や暮らしの悩みごと、社会福祉協議会へ期待することなどを把握することを目的に行つた。		○ ○
				生活課題の検討・調整	調査期間 2/8から2/29 回答状況 1,299部 回答方法 (WEB) 933部 (用紙へ直接記入) 366部		○ ○
				福祉活動専門研修会	コミュニティソーシャルワークを積極的に進めため、福祉活動専門員（CSW）を対象とした研修会を開催した。		○ ○
					開催日 11/24 研修内容 他市町村社協の状況とCSW業務、今日の社会福祉企画部長 脊藤穂氏 福社活動専門員勉強会 CSWを3つのグループに分け個人ワークとグループワークを実施し、短期目標（3カ月から半年）、中期目標（1年から3年以内）、長期目標（5年以内）をグループごとにまとめた。		

No.	担当課	部門	事業名等		内 容	実施日	講師	研修修習者数	講評参加者数	実施日	講師	研修修習者数	講評参加者数	実施日	講師	研修修習者数	講評参加者数	実施日	講師	研修修習者数	講評参加者数	実施日	講師	研修修習者数	講評参加者数	重点項目 (★)			
			事業名等	大区分																									
			地域支援活性化		生活課題を抱えた世帯と地域福祉活動をつなぐ事業 ペット等の多頭飼育を原因とする問題やゴミ屋敷等、孤立している世帯への支援について、自治会等 と連携し課題解決に取り組んだ。 モデル事業として実施 取り組み数 3団体 201,000 円	【第1回】 全4回開催 実施日 7/12 講師 参加者数 371名 【会場】 300名 (Zoom) 71名	★	○	★	○	★	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			住民参加型まちづくり普及啓発		市民が地域福祉について学ぶ場を設け、身近な実践事例に触ながら福祉活動の担い手の普及と育成を図 るため「おかげさまを学ぶ講座」を開催した。	【第2回】 実施日 9/11 講師 参加者数 87名 【会場】 66名 (Zoom) 21名																							
			福祉のまちづくり支援室		金性寺住職 正法寺單頭老師 松森 弘隆 氏 テーマ 災害時要配慮者に対する支援と住民活動 岩手県立大学社会福祉学部准教授 日本DMAT隊員 元赤十字救護班員 伊藤隆博氏	【第3回】 実施日 11/2 講師 参加者数 96名 【会場】 86名 (Zoom) 10名																							
					いななか坊主のおはなし 妙見山黒石寺 住職 藤波 大吾 氏 知ってよかつた！地域福祉活動の基本 東北福祉大学総合福祉学部 社会福祉学科長・教授 田中 尚 氏	【第4回】 実施日 12/13 講師 参加者数 91名 【会場】 81名 (Zoom) 10名																							

No.	担当課	部門	事業名等			内 容	重点項目(★)
			大区分	中区分	新規事業		
34	地域福祉課	地域福祉地域共生支援室	見守り・安心台帳整備による見守り支援活動 平常時の見守りや安否確認、訪問活動を展開し、見守り・安心台帳の整備を進めた。	対象者区分	水沢 江刺 前沢 胆沢 衣川 合 計	○	
				独居高齢者 高齢者世帯 寝たきり高齢者 認知症高齢者 障がい、(身体) 障がい、(知的) 障がい、(精神) 難病・特定疾病 その他世帯	713件 127件 0件 8件 29件 3件 6件 13件 83件 150件 0件 2件 1件 23件 1件 1件 3件 35件 31件 0件 1件 0件 8件 0件 0件 0件 6件 58件 0件 0件 0件 1件 0件 0件 1件 2件 49件 1件 1件 0件 1件 0件 0件 1件 6件 47件 0件 4件 4件 4件 0件 0件 1件 156件 37件 0件 15件 65件 4件 0件 0件 1件 156件 1,108件 353件 0件 0件 65件 4件 7件 19件 1,727件		
			避難行動要支援者台帳整備 避難行動要支援者台帳の登録を進めた。	対象者区分	水沢 江刺 前沢 胆沢 衣川 合 計	○	
				独居高齢者 高齢者世帯 寝たきり高齢者 認知症高齢者 障がい、(身体) 障がい、(知的) 障がい、(精神) 難病・特定疾病 その他世帯	236件 69件 1件 2件 42件 3件 7件 9件 25件 255件 71件 1件 4件 27件 3件 3件 10件 12件 47件 31件 1件 0件 17件 17件 5件 15件 16件 153件 89件 0件 0件 7件 7件 0件 0件 12件 16件 12件 0件 1件 7件 7件 0件 0件 110件 707件 272件 4件 10件 110件 110件 0件 0件 11件 ○		
			携帯用緊急連絡カードの配備 緊急時の連絡先について確認し、自宅用と携帯用の2種類の緊急連絡カードの配備、更新を行った。	水沢	江刺 前沢 衣川 合 計		
				1,376枚 840枚 206枚 345枚 162枚 2,929枚			
35	地域福祉課	地域福祉推進協議会や地区振興会及び自治会との協働による事業推進	地域全体の福祉力の向上や、地域課題の解決に向けた先駆的な取組みの支援を行った。また、地区全体の課題把握と解決に向けた振興会事業との連携を図った。	地域福祉推進協議会 水沢地域福祉推進協議会 江刺地域福祉推進協議会	開催回数4回 開催回数4回	○ ○	

No.	担当課	部門	事業名等		内 容	重点項目(★)	発展強化経営計画	
			大区分	中区分			新規事業	地域福祉活動計画
	福祉まちづくり支援室	福祉	前沢地域福祉推進協議会 胆沢地域福祉推進協議会 衣川地域福祉推進協議会 振興会等の自治組織との協議・事業推進 各地区振興会訪問回数 120 回 地域福祉の向上・地域課題の解決に向けた助成金交付	開催回数 4 回 開催回数 4 回 開催回数 4 回 各地区振興会訪問回数 120 回 総額 4,484,020 円				
36	地域福祉課	地域共生支援室	民生委員・児童委員(協議会)と連携し、地域の福祉推進のための会議開催、見守り活動の取組みや 歳末たすけあい運動配分対象者調査に併せて地域状況把握を協力して進めた。また、各地域、各地区で 開催される民生児童委員協議会の会議に毎月出席し、地域福祉活動推進のための連携を図った。 会議の名称 奥州市民生児童委員連合協議会民児協代表者会議 水沢市民生児童委員協議会地区会会长会議 江刺市民生児童委員協議会会长・副会长会議 市内 16 地区民児協定例会			○		
37	地域福祉課	ボランティア・市民活動センター 運営事業	ボランティア活動振興室を設置し、課内の地域共生推進室、福祉のまちづくり支援室と 協力し、地域福祉推進組織や各種関係機関・団体との連携を図った。			○		
		ボランティア活動振興室	抜け漏れのない支援 ご近所福祉スタッフによる活動 地域福祉活動の担い手として、50 世帯に 1 名を自宅にご近所福祉スタッフを嘱託し、見守り活動の推進を行った。			○	○	

No.	担当課	部門	事業名等			内 容	重点項目(★)	新規事業 地域 活動 計画	発展 強化 経営 計画
			大区分	中区分					
			ありがとうボランティア協力店事業	ありがとうボランティア協力店事業を対象とした買い物支援の取り組みとして、日用品の配達や店内での支援を行った。普及・拡大を進めた。	高齢者や障がい者を対象とした買い物支援を行った。普及・拡大を行った。	こんにちは店（訪問支援型）、いらっしゃい店（店内配慮型）両方を兼ねるこんにちは・いらっしゃい店（訪問支援型・店内配慮型）を設置し、安心で便利な福祉のまちづくりを進めた。			
			区 分	水沢 江刺 前沢 胆沢 衣川 合 計	こんにちは店 12 店 0 店 4 店 0 店 20 店	いらっしゃい店 5 店 0 店 1 店 0 店 1 店 7 店	こんにちは・いらっしゃい店 5 店 26 店 5 店 1 店 0 店 37 店	合 計 22 店 26 店 10 店 5 店 1 店 64 店	
			ボランティア研修会等の開催	地域で暮らしつづけるためのおかげさまでを学ぶ講座	生活支援ボランティア養成講座	ささえあいの会まかせて会員やボランティアに興味のある方を対象とした養成講座を開催した。	受講者 延べ314人（うちZoom受講71人）	開催日 8/7	内 容 ①紙芝居形式ミニ講話 ②助け合い体験ゲーム
			地域における福祉教育の推進研修会開催	奥州市地域包括支援センター生活支援コーディネーター 岡本智佳子氏	講 師 受講者 12人	高校生を中心とした、こども食堂運営がボランティアの養成研修の実施	○ ○	○ ○	・地域セーフティネット会議（242か所で実施）へ参加し、住民のくらしのニーズの把握や、地域で支えあうための体制づくりを支援した。 ・研修会や講座の受講生を対象としたアンケートを実施した。 ・幅広い世代のニーズ把握のため、Weboと紙媒体による地域福祉に関するアンケート調査を実施した。

No.	担当課	部門	事業名等		内 容	重点項目(★)
			大区分	中区分		
			調査研究・情報提供	奥州ゆいっこ人材名鑑の登録と活用推進 仕組みを推進した。 登録者 36 人（団体） 各種情報発信 民間活動資金の紹介、ボランティアイベント等を報道関係機関へ随時、情報提供を行った。また、SNS を使った情報発信にも努めた。（Facebook フォロワー336名、昨年度対比+11）	○	
			ボランティア・市民活動	・ボランティア活動希望者の相談対応、既存団体の運営支援、助成金活用に関する相談等を行った。 奥州市社協ボランティア・市民活動センター運営委員会の開催 ・第1回運営委員会 5/23 出席者 13 人 令和4年度事業報告及び令和5年度事業計画について ・第2回運営委員会 3/11 出席者 12 人 令和5年度事業中間報告及び令和6年度事業計画（案）について ・ボランティアの登録状況等 ・ボランティアの登録状況	○	

活動拠点	ボランティアを主目的とする団体		ボランティアを主目的としない団体	
	団体数	所属者数	団体数	所属者数
市全域	2	45	0	0
水沢	17	302	3	101
江刺	10	228	9	773
前沢	6	520	5	133
胆沢	5	63	1	2
衣川	4	45	5	54
合 計	44	1,203	23	1,063

・ボランティア活動保険加入状況

区分	基本プラン	天災・地震・補償プラン		特定感染症 重点プラン	合 計
		天災	地震		
水沢	1,766 人	74 人	29 人	1,869 人	
江刺	79 人	5 人	1 人	85 人	
前沢	166 人	1 人	0 人	167 人	
胆沢	50 人	0 人	0 人	50 人	
衣川	10 人	1 人	0 人	11 人	
合 計	2,071 人	81 人	30 人	2,182 人	

No.	担当課	部門	事業名等		外出支援サービス事業 高齢者・障がい者等を対象に、ボランティアによるリフト付き車両の運行を行い、通院・公共施設への外出支援を行った。(福祉有償輸送許可事業)	利用内容 通院、買い物、諸手続き、会議など	○	重点項目(★)																					
			大区分	中区分				新規事業 地域福祉活動計画	発展強化経営計画																				
			外出支援サービス事業 高齢者・障がい者等を対象に、ボランティアによるリフト付き車両の運行を行い、通院・公共施設への外出支援を行った。(福祉有償輸送許可事業)		外出支援サービス事業 高齢者・障がい者等を対象に、ボランティアによるリフト付き車両の運行を行い、通院・公共施設への外出支援を行った。(福祉有償輸送許可事業)	・利用内容 通院、買い物、諸手続き、会議など																							
			外出支援サービス事業 高齢者・障がい者等を対象に、ボランティアによるリフト付き車両の運行を行い、通院・公共施設への外出支援を行った。(福祉有償輸送許可事業)		外出支援ボランティアの養成（福祉有償運送運転者講習受講） 受講者 2人	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>前回</th> <th>胆沢</th> <th>衣川</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用登録人数</td> <td>21人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>21人</td> </tr> <tr> <td>利用回数</td> <td>193回</td> <td>0回</td> <td>0回</td> <td>193回</td> </tr> <tr> <td>ボランティア登録者数</td> <td>7人</td> <td>0人</td> <td>3人</td> <td>10人</td> </tr> </tbody> </table>	区分	前回	胆沢	衣川	合計	利用登録人数	21人	0人	0人	21人	利用回数	193回	0回	0回	193回	ボランティア登録者数	7人	0人	3人	10人			
区分	前回	胆沢	衣川	合計																									
利用登録人数	21人	0人	0人	21人																									
利用回数	193回	0回	0回	193回																									
ボランティア登録者数	7人	0人	3人	10人																									

No.	担当課	部門	事業名等			内 容	重点項目 (★)
			大区分	中区分	新規事業		
		福祉団体・ボランティア団体支援事業	水沢工業高校テクノボランティア 小地域の福祉活動の拠点となる集会施設等の電気設備点検や整備等を行う活動 協力者数 6人 活動場所 23カ所 (水沢地域・江刺愛宕地区) まえさわエコチャップ運動 (前沢地域) 「世界の子どもにワクチンを寄贈する活動」を目的に、まえさわエコチャップ運動推進委員会によるベットボトルキャップ収集の活動支援を行い、「世界の子どもにもワクチンを 日本委員会」へ寄付を行った。 収集実績 282 件、数量 2,462 kg (1,107,900 個) 売却益金 12,310 円 (ワクチン約 616 人分)		○		
		住民参加型在宅福祉サービス「ささえあいの会」	住民参加型在宅福祉サービス「ささえあいの会」 有償ボランティアの取組みで、会員登録制による支援の必要な高齢者と障がい者の家事援助や生活援助をお手伝いする取組みを推進し実施した。具体的な活動は、洗濯、掃除、買い物、軽易な身の回りの世話、外出介助及び付添い、話し相手等である。 ・会員数				
		災害支援ボランティアの派遣	災害被災地や被災者支援 7月に発生した秋田県の大震災ではボランティアバスを運行し、災害支援ボランティア活動を実施した。 開催日 8 / 9 活動先 秋田県秋田市 内容 現地のニーズ調査 参加者 14人 (うち同行職員 2人)			○	○

No.	担当課	部門	事業名等		内 容	重点項目(★)	
			大区分	中区分			
			災害ボランティアセンター運営マニュアルの改訂 本会の災害ボランティアセンターを見直し、現在の流れに合わせた内容に改正した。 災害ボランティアセンターの設置・運営訓練 岩手県社会福祉協議会と広域市町村社協が連携して行う「災害ボランティアセンターの設置・運営に係る研修訓練」に参加した。	11/ 8 開催地 金ヶ崎町 11/15 開催地 陸前高田市	参加者 5人 参加者 3人		
			外国人住民の防災のための取り組み 災害発生時等に外国人が孤立することのないように、避難指示等の重要な情報を探しやすい言語・表現で発信できる体制づくりのための「やさしい日本語」の研修会に参加した。	開催日 7/28 会 場 奥州市役所		○	
			いざわ福祉まつり 開催日 10/28～29 場 所 胆沢文化創造センター 内 容 福祉施設・ボランティア団体による作品展示及び運営協力 奥州つながるフェスタ 開催日 11/26 場 所 藤里地区センター 内 容 各地域ボランティア連絡協議会加入団体へ周知し、参加を呼びかけた。			○	
			福祉ボランティア啓発イベント事業 発 催				
38	地域 福祉 課	福祉 のまち づくり 支 援 室	総合相談会の開催		市民の抱える複合化・困難化した生活課題に効果的な支援を目指し生活の自立支援と生活課題の解決に向け、くらしことの総合相談会を実施した。		
					全4回開催 相談数215件【法律29件、相続61件、子育て4件、高齢者・介護17件、障がい8件、こころとからだ20件、仕事10件、財産管理13件、お墓30件、生活全般23件】 【第1回】 実施日 6/22 会 場 奥州市文化会館 中ホール 相談員 13名 相談数 51件（法律8件、相続16件、高齢者・介護3件、障がい3件、こころとからだ5件、仕事2件、財産管理3件、お墓8件、生活全般3件） 【第2回】 実施日 8/30 会 場 奥州市文化会館 中ホール 相談員 14名	○	

No.	担当課	部門	事業名等		内 容	重点項目(★)
			大区分	中区分		
					相談数 47件（法律7件、相続15件、子育て1件、高齢者・介護3件、障がい1件、 こころとからだ3件、財産管理3件、お墓6件、生活全般8件）	
					【第3回】 実施日 11/1 会場 奥州市文化会館 中ホール 相談員 14名 相談数 62件（法律7件、相続16件、子育て1件、高齢者・介護7件、障がい3件、 こころとからだ8件、仕事4件、財産管理2件、お墓8件、生活全般6件）	
					【第4回】 実施日 1/19 会場 奥州市文化会館 中ホール 相談員 14名 相談数 55件（法律7件、相続14件、子育て2件、高齢者・介護4件、障がい1件、 こころとからだ4件、仕事4件、財産管理5件、お墓8件、生活全般6件）	
39	地域福祉課	福祉のまちづくり支援室	福社なんでも相談所（心配ごと相談）の開設	福社車両貸出事業「あぱいん」	市民の福祉や生活に関するあらゆる悩みを相談できる窓口として福祉なんでも相談所を開設し、地域福祉課の福祉活動専門員(CSW)が悩みごとや困りごとの解決に向け助言等を行った。 実施期間 5/16から12/19までの期間における指定日 実施場所 市内30地区センターを年2回巡回して実施 開設日数 60日 取扱件数 14件（くらしのお金1件、家屋1件、家族4件、高齢者福祉1件、 障がい者福祉1件、健康・病気2件、地域・近隣1件、その他3件）	○
40	地域福祉課	地域共生支援室	福社車両貸出事業「あぱいん」	車いす利用者等、1人では公共交通機関を利用して外出することが困難な在宅者の生活圏拡大と社会参加への支援を目的として、福祉車両の無料貸出事業を実施した。 貸出し状況	○	
41	地域福祉課	地域共生支援室	生活福祉資金貸付事業	岩手県社会福祉協議会から受託し、生活困窮者自立相談支援事業との連携を図り、要支援者を対象に、生活福祉資金の貸付による更生援助を行った。 ・相談対応件数 86件 ・緊急小口資金(本則)貸付決定件数 8件 ・生活福祉資金福祉費貸付決定件数 2件 ・生活福祉資金教育支拂金貸付決定件数 3件		

No.	担当課	部門	事業名等		内 容	重点項目(★)																																																														
			大区分	中区分																																																																
					<p>コロナ特例貸付終了後も、減収が続き償還が厳しい世帯に対して、最長1年間の償還猶予申請おおよび少額返済のための相談対応を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ特例貸付償還猶予相談対応件数 73 件 ・コロナ特例緊急小口資金償還猶予申請 44 件 ・コロナ特例総合支援資金償還猶予申請 29 件 <p>生活福祉資金貸付状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">資金種類</th> <th colspan="3">令和5年度実績</th> <th rowspan="2">貸付金 金額(円)</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>金額(円)</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合支援資金（コロナ特例除く）</td><td>0</td><td>71</td><td>32,819,514</td> </tr> <tr> <td>緊急小口資金（コロナ特例除く）</td><td>8</td><td>630,000</td><td>80</td><td>6,811,000</td> </tr> <tr> <td>不動産担保型生活資金</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td><td>2,877,000</td> </tr> <tr> <td>離職者支援資金</td><td>0</td><td>0</td><td>2</td><td>2,100,000</td> </tr> <tr> <td>福祉資金福祉費</td><td>2</td><td>1,170,673</td><td>85</td><td>54,631,238</td> </tr> <tr> <td>教育支援資金</td><td>3</td><td>2,314,000</td><td>203</td><td>278,823,588</td> </tr> <tr> <td>コロナ特例緊急小口資金</td><td>0</td><td>0</td><td>540</td><td>95,367,000</td> </tr> <tr> <td>コロナ特例総合支援資金(初回)</td><td>0</td><td>0</td><td>236</td><td>133,765,000</td> </tr> <tr> <td>コロナ特例総合支援資金(延長)</td><td>0</td><td>0</td><td>19</td><td>8,630,000</td> </tr> <tr> <td>コロナ特例総合支援資金(再貸付)</td><td>0</td><td>0</td><td>75</td><td>36,080,000</td> </tr> <tr> <td>合 計</td><td>13</td><td>4,114,673</td><td>1,312</td><td>651,904,340</td> </tr> </tbody> </table> <p>※貸付金は、令和6年3月末現在の金額</p>	資金種類	令和5年度実績			貸付金 金額(円)	件数	金額(円)	件数	総合支援資金（コロナ特例除く）	0	71	32,819,514	緊急小口資金（コロナ特例除く）	8	630,000	80	6,811,000	不動産担保型生活資金	0	0	1	2,877,000	離職者支援資金	0	0	2	2,100,000	福祉資金福祉費	2	1,170,673	85	54,631,238	教育支援資金	3	2,314,000	203	278,823,588	コロナ特例緊急小口資金	0	0	540	95,367,000	コロナ特例総合支援資金(初回)	0	0	236	133,765,000	コロナ特例総合支援資金(延長)	0	0	19	8,630,000	コロナ特例総合支援資金(再貸付)	0	0	75	36,080,000	合 計	13	4,114,673	1,312	651,904,340	
資金種類	令和5年度実績			貸付金 金額(円)																																																																
	件数	金額(円)	件数																																																																	
総合支援資金（コロナ特例除く）	0	71	32,819,514																																																																	
緊急小口資金（コロナ特例除く）	8	630,000	80	6,811,000																																																																
不動産担保型生活資金	0	0	1	2,877,000																																																																
離職者支援資金	0	0	2	2,100,000																																																																
福祉資金福祉費	2	1,170,673	85	54,631,238																																																																
教育支援資金	3	2,314,000	203	278,823,588																																																																
コロナ特例緊急小口資金	0	0	540	95,367,000																																																																
コロナ特例総合支援資金(初回)	0	0	236	133,765,000																																																																
コロナ特例総合支援資金(延長)	0	0	19	8,630,000																																																																
コロナ特例総合支援資金(再貸付)	0	0	75	36,080,000																																																																
合 計	13	4,114,673	1,312	651,904,340																																																																

生計維持が困難な要支援者を対象に、たすけあい資金の貸付による更生援助を行った。
小口の生活支援貸付金5万円まで（無利子）

たすけあい資金貸付状況
家庭訪問徴還指導

貸付件数	28 件	訪問世帯	14 件
貸付金額	1,025,000 円	訪問件数	14 件
償還金額	1,218,000 円	訪問日数	3 日
免除金額	100,000 円	面談件数	8 件
滞納件数	28 件	償還件数	2 件
滞納金額	1,054,200 円	償還金額	75,000 円
未償還金額	1,316,200 円		

たすけあい資金不能欠損処理 2 件 100,000 円

No.	担当課	部門	事業名等			内 容	重点項目 (★)
			大区分	中区分	新規事業		
42	地域福祉課	地域共生支援室	おげんきシステム	ひとり暮らし高齢者宅の電話を用いて健康状態を発信する「いわて“おげんき”みまもりシステム」	を活用して、近隣では見守りが困難な世帯の安否確認を行った。(江利) 支援世帯数 5世帯		
43	地域福祉課	福祉のまちづくり支援室	地域の居場所づくり事業	歳末たすけあい募金の地域福祉活動助成金を活用することで、コロナ禍前に行われていた小正月行事等の地域交流、つながりを呼び戻すきっかけづくりに寄与した。また、小地域ネットワーク活動やふれあいいきいきサロン活動助成金の取り組み、子ども食堂の開設支援を通じて、地域の居場所づくり、世代間交流の場所を作った。		○	
44	地域福祉課	地域共生支援室	地域共生事業(CSW地域事業)	生活課題の検討・調整	住民主体の地域福祉活動や、暮らしを支え合う地域づくりのため、福祉活動専門員による個別支援・地域支援を行った。また、かたりあるいは輪福祉懇談会等で把握した地域の優先課題の解決に向けて、地区振興会やネット会議との連携を図った。	○	
45	地域福祉課	地域共生支援室	福祉専門職の育成	地域セーフティネット会議等に参加し、8050問題やゴミ屋敷問題など複合課題や引きこもりで悩む世帯、困難などで緊急支援を要する世帯を把握することに努めた。	地域セーフティネット会議訪問回数 186回	○	
			福社活動専門員研修会	セーフティネット会議を積極的に進めることで、福祉活動専門員(CSW)による研修を開催した。	○		
			福社活動専門員研修会	CSWを3つのグループに分け個人ワークヒブループワークを実施し、短期目標(3カ月から半年)、中期目標(1年から3年以内)、長期目標(5年以内)をグループごとにまとめた。	○		
			ゆったりサロン 参加者延254人	ゆったりサロン 参加者延254人	期日 命和5年4月から令和6年3月まで (毎月第3土曜日) の11回	会場 奥州市総合福祉センター 精神保健福祉デランティア養成講座 受講者19人	
			地域共生支援室	随がい、等地域支援事業	開催日 令和5年6月から7月まで (全4回)	場所 奥州市総合福祉センター	

No.	担当課	部門	事業名等		内 容	重点項目(★)																																																		
			大区分	中区分																																																				
			社会参 加事業	音声ボランティア初級講習会 開催日 令和5年10月から11月まで(全4回) 場所 奥州市総合福祉センター																																																				
46	地域 福 祉 課	地域 共生 支援 支 室	江刺総合ミニユ ニティセンタ ーの経営	奥州市の指定管理を受け、市民の福祉増進と福祉意識の啓発を図り、地域福祉活動を総合的に推進するための活動拠点として活用し、適切な管理運営に取り組んだ。 利用件数 1,279件 利用人員 15,339人	歳末たすけあい募金により生活困難者への「激励金給付」と、孤立を防ぎ地域の絆を深める「地域福祉活動助成」を行った。	○																																																		
47	地域 福 祉 課	地域 共生 支援 支 室	歳末たすけあい 運動配分事業 (激励金給付・地 域づくり活動助 成)		<table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>単価区分</th> <th>激励金 金額</th> <th>世帯数 加算人数</th> <th>合 計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生活困難なひとり暮らし 高齢者世帯</td> <td>世帯給付</td> <td>8,000 円</td> <td>363 世帯 40人</td> <td>2,904,000 円</td> </tr> <tr> <td>生活困難な高齢者世帯</td> <td>世帯給付 人員加算</td> <td>8,000 円 1,000 円</td> <td>38 世帯 40人</td> <td>344,000 円</td> </tr> <tr> <td>生活困難な高齢者 知症高齢者</td> <td>世帯給付 人員加算</td> <td>8,000 円 1,000 円</td> <td>26 世帯 41人</td> <td>249,000 円</td> </tr> <tr> <td>生活困 難な介 護を要 する者 がいる 世帯</td> <td>世帯給付 人員加算</td> <td>8,000 円 1,000 円</td> <td>139 世帯 233人</td> <td>1,345,000 円</td> </tr> <tr> <td>障がい者 難病</td> <td>世帯給付 人員加算</td> <td>8,000 円 1,000 円</td> <td>11 世帯 16人</td> <td>104,000 円</td> </tr> <tr> <td>生活困難なひとり親世帯</td> <td>世帯給付 人員加算</td> <td>8,000 円 1,000 円</td> <td>115 世帯 182人</td> <td>1,102,000 円</td> </tr> <tr> <td>その他の生活困難世帯</td> <td>世帯給付 人員加算</td> <td>8,000 円 1,000 円</td> <td>104 世帯 125人</td> <td>957,000 円</td> </tr> <tr> <td>災害被災世帯</td> <td>世帯給付</td> <td>10,000 円</td> <td>11 世帯</td> <td>110,000 円</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>人員加算</td> <td>—</td> <td>807 世帯 637 人</td> <td>7,115,000 円</td> </tr> </tbody> </table>	項 目	単価区分	激励金 金額	世帯数 加算人数	合 計	生活困難なひとり暮らし 高齢者世帯	世帯給付	8,000 円	363 世帯 40人	2,904,000 円	生活困難な高齢者世帯	世帯給付 人員加算	8,000 円 1,000 円	38 世帯 40人	344,000 円	生活困難な高齢者 知症高齢者	世帯給付 人員加算	8,000 円 1,000 円	26 世帯 41人	249,000 円	生活困 難な介 護を要 する者 がいる 世帯	世帯給付 人員加算	8,000 円 1,000 円	139 世帯 233人	1,345,000 円	障がい者 難病	世帯給付 人員加算	8,000 円 1,000 円	11 世帯 16人	104,000 円	生活困難なひとり親世帯	世帯給付 人員加算	8,000 円 1,000 円	115 世帯 182人	1,102,000 円	その他の生活困難世帯	世帯給付 人員加算	8,000 円 1,000 円	104 世帯 125人	957,000 円	災害被災世帯	世帯給付	10,000 円	11 世帯	110,000 円	合 計	人員加算	—	807 世帯 637 人	7,115,000 円	
項 目	単価区分	激励金 金額	世帯数 加算人数	合 計																																																				
生活困難なひとり暮らし 高齢者世帯	世帯給付	8,000 円	363 世帯 40人	2,904,000 円																																																				
生活困難な高齢者世帯	世帯給付 人員加算	8,000 円 1,000 円	38 世帯 40人	344,000 円																																																				
生活困難な高齢者 知症高齢者	世帯給付 人員加算	8,000 円 1,000 円	26 世帯 41人	249,000 円																																																				
生活困 難な介 護を要 する者 がいる 世帯	世帯給付 人員加算	8,000 円 1,000 円	139 世帯 233人	1,345,000 円																																																				
障がい者 難病	世帯給付 人員加算	8,000 円 1,000 円	11 世帯 16人	104,000 円																																																				
生活困難なひとり親世帯	世帯給付 人員加算	8,000 円 1,000 円	115 世帯 182人	1,102,000 円																																																				
その他の生活困難世帯	世帯給付 人員加算	8,000 円 1,000 円	104 世帯 125人	957,000 円																																																				
災害被災世帯	世帯給付	10,000 円	11 世帯	110,000 円																																																				
合 計	人員加算	—	807 世帯 637 人	7,115,000 円																																																				

No.	担当課	部門	事業名等			内 容	重点項目(★)								
			大区分	中区分	事業名等		新規事業	地域福祉活動計画	発展経営計画						
					地域福祉活動助成										
					助成対象		件数	合 計							
					地域交流・つながりづくり たすけあいによる生活支援		129 件	2,785,000 円							
					その他		16 件	355,000 円							
					合 計		6 件	160,000 円							
					151 件		151 件	3,300,000 円							
					各種団体、機関と連携協働し、会員拡大のための周知協力をするとともに、団体の活動を支援した。										
					関係団体支援の状況										
					福祉団体名		本所	水沢	江刺	前沢	胆沢				
					老人クラブ連合会			○	○	○	本川				
					身体障害者会福祉会			○	○	○	○				
					手をつなぐ育成会			○	○	○	○				
					民生児童委員協議会		◎	○	○	○	○				
					民生児童委員OB会			○	○	○	○				
					遺族連合会			○	○	○	○				
					ボランティア連絡協議会		◎	○	○	○	○				
					※福祉団体事務委託契約を締結している団体										
					◎は奥州市の組織										
					地域 共生 支援 室										
48	地域 福祉 課				奥州金ヶ崎地域権利擁護センターの運 営 権利センター當										
49	生 活 応 援 課				福祉 サービス 利用 支援										

No.	担当課	部門	事業名等		内 容	重点項目(★)	新規事業 実施計画	地域福祉活動計画	発展強化経営計画	
			大区分	中区分						
			奥州金ヶ崎地域権利擁護あんしんセンターと盛岡家庭裁判所水沢支部との情報交換会開催日		第4回 2/27 協議案件1件 出席者5名 奥州金ヶ崎地域権利擁護あんしんセンターと盛岡家庭裁判所水沢支部との情報交換会開催日 第1回 7/27 関係職員 4名 第2回 10/30 関係職員 5名 第3回 2/19 関係職員 5名					
			奥州金ヶ崎地域連携ネットワーク協議会の運営		成年後見制度の利用が必要な人が制度を利用できるよう各種専門職団体・関係機関の協力・連携強化を目的とした協議の場として、奥州金ヶ崎地域連携ネットワーク協議会を開催した。 開催日 5/10 出席委員 12名・オブザーバー出席 1名 内容 令和5年度奥州金ヶ崎地域権利擁護あんしんセンター事業計画について等	○				
			成年後見制度と相談支援		制度を普及啓発するためのチラシとパンフレットを作成し、関係機関へ配布した。 制度質問のための地域福祉推進協議会や民生児童委員協議会に出向き事業説明等 訪問回数 24回 参加者延べ 447人 法人後見についての周知説明対応 奥州金ヶ崎地域権利擁護研修会（奥州地域日常生活自立支援事業関係機関等連絡会） 開催日 11/10 参加者 27人 内容 成年後見の実務における課題ほか、 成年後見制度申立の相談対応、手続き支援等を行った。 支援により申立て手続きを行ったケース 10件（高齢者 5件、障害者 5件） 支援により申立て手続き中のケース 17件（高齢者 5件、障害者 12件）		○			
			市民後見人養成組み・活動支援		身近な市民の立場で後見活動を行う市民後見人養成講座」を開催した。 実施期間 9/7から10/5まで 全5回 会場 奥州市総合福祉センター 受講生 16名（修了生） 令和5年度奥州金ヶ崎地域及び二戸地城市民後見人合同研修会 開催日 9/29 参加者 42人 会場 奥州市総合福祉センター 令和5年度市民後見人候補者登録に係る説明会及び生活支援等情報交換会 開催日 11/29 参加者 33人	○				

No.	担当課	部門	事業名等		会 場	奥州市総合福祉センター	内 容	重点項目 (★)		
			大区分	中区分				新規事業	地域福祉計画	発展強化経営計画
			死後事務委任契約		・任意後見制度の利用支援に係る視察研修 ・財産管理等の事務委任契約にかかる研修会	視察先 花巻公证役場 開催日 会 場	10/16 職員 3名参加 10/27 奥州市総合福祉センター 職員 13名参加	★		
			法人として成年後見の受任		相談員 1人を配置し、成年後見制度の利用支援と法人後見の受任による不動産や預貯金等の財産管理、契約の代行、身上監護等を行った。 ・受任件数 18件 3/31現在 (後見 11件、保佐 5件、補助 2件) ・被後見人等の死亡により 1件減、受任の依頼により 5件増 ・法人後見運営委員会 第1回 9/12 出席10名 受任可1件 第2回 11/7 出席13名 受任可2件 第3回 3/15 出席11名 受任可2件 否1件	○				
			日常生活自立支援事業		判断能力を有しているが、様々な手続きに不安を抱えている方々に対し、福祉サービス利用支援。 日常的金銭管理サービス・通帳書類等預かりサービス・相談・訪問活動等を行った。 専門員 2人を配置し、生活支援員 20人の援助活動により、福祉サービスの利用支援、日常的金銭管理サービス、通帳書類等預かりサービス、相談・訪問活動を行った。	区分	認知症 精神 その他	合計		
					相談援助件数 契約締結件数 (生活保護世帯 1件) 契約終了件数 実利用人数	365 4 7 22	524 1 5 32	754 3 8 34	21 0 0 0	1,664 8 20 88

No.	担当課	部門	事業名等			内 容	重点項目(★)																			
			大区分	中区分	新規事業																					
			障がいのある人の不利益な取扱いの相談窓口の開設	障がいがあることを理由に不利な区別、排除及び権利の制限がなされた場合の窓口を設置した。 ・福祉だよりを通じて窓口の開設について周知 ・相談受付実績 1件																						
50	生活応課	生活困窮者支援	奥州市・金ヶ崎町生活困窮者自立支援事業相談支援事業	奥州市市民及び金ヶ崎町民を対象に、経済的に困窮し、最低限度の生活維持ができない恐れのある人に対し、相談者に寄り添う伴走型の相談援助を行った。	<table border="1"> <tr> <td>①新規相談受付件数</td> <td>奥州市</td> <td>314件</td> <td>金ヶ崎町</td> <td>33件</td> </tr> <tr> <td>②プラン作成件数</td> <td>(うち再プラン策定6件)</td> <td>57件</td> <td>(うち再プラン策定1件)</td> <td>8件</td> </tr> <tr> <td>③支援終結件数</td> <td></td> <td>52件</td> <td></td> <td>9件</td> </tr> <tr> <td>④支援調整会議開催回数</td> <td></td> <td>24回</td> <td></td> <td>4回</td> </tr> </table>	①新規相談受付件数	奥州市	314件	金ヶ崎町	33件	②プラン作成件数	(うち再プラン策定6件)	57件	(うち再プラン策定1件)	8件	③支援終結件数		52件		9件	④支援調整会議開催回数		24回		4回	<p>○</p>
①新規相談受付件数	奥州市	314件	金ヶ崎町	33件																						
②プラン作成件数	(うち再プラン策定6件)	57件	(うち再プラン策定1件)	8件																						
③支援終結件数		52件		9件																						
④支援調整会議開催回数		24回		4回																						

生活困窮世帯及び生活保護世帯に対し、早期に困難状態から脱却することを支援するため、日常生活・社会生活・就労の自立支援を提供し、一般就労に結びつくよう支援した。

奥州市生活困窮者就労準備支援事業本人の状況に応じて、日常生活自立支援、社会生活自立支援又は就労自立支援を提供し、一般就労へ結びつくよう支援した。

- ・新規就労準備支援業務対象者 1人
- ・実施プログラム4種類 32回開催 延べ32人参加

区分	回数	参加者数(延べ)
① カウンセラーフェースト接相談	10回	10人
② やる気向上プログラム	4回	4人
③ パソコン練習日	4回	4人
④ 個別面談	14回	14人

・就労者 0人

奥州市被保護者就労準備支援事業本人の状況に応じて、日常生活自立支援、社会生活自立支援又は就労自立支援を提供し、一般就労へ結びつくよう支援した。

- ・新規就労準備支援業務対象者 4人
- ・実施プログラム2種類 延べ37人参加

No.	担当課	部門	事業名等		内 容				新規事業 実績	地域福祉活動計画	重点項目 (★)
			大区分	中区分	区分	回数	参加者数(延べ)				
					① カウンセラーフェスティバル相談	4回	4人				
					② パソコン練習会	33回	33人				
					・就労者 0人						
					家計に課題を抱える方の相談に応じ、その状況を明らかにして生活の再生に向けた意欲を引き出し、管理する力を高め、早期に生活が再生きされることを目的とした相談援助を行った。						
			生活困窮者家庭改善支援事業	職業紹介件数	奥州市内に居住する生活困窮者自立支援法自立相談支援事業の利用者に対し就業を斡旋するため、厚生労働省の認可を受け、無料職業紹介をおこなった。						
			無料職業紹介所設置運営事業	職業紹介件数	奥州市内に居住する生活困窮者自立支援法自立相談支援事業の利用者に対し就業を斡旋するため、厚生労働省の認可を受け、無料職業紹介をおこなった。						
			フードバンク運営事業	食品受付件数	何らかの理由で生活が困窮した状態になり、当面の食料がない世帯に対し、企業及び市民から寄付された食品を提供した。	116件	提供件数 世帯へ提供 127件 (192人)				
			家族事業	家族食堂協力店舗	様々な理由で困窮している世帯に対し、飲食店経営者の理解を得ながら食事を提供することで、家族の団らんや社会参加の機会を提供し、自立支援につなげていくことをめざし事業を実施した。	8店	提供件数 3件 (14人)				
			若年ひとり暮らし世帯へのアプローチ	若年ひとり暮らし世帯中の高校中退後のひきこもり世帯へのアプローチ	義務教育後や高校中退後のひきこもり世帯への把握と対象者への生活支援の方策について検討するため、市内高等学校を訪問し、生活困窮者自立支援事業等の紹介と、現状の確認等を行った。		★				
51	生活応課	地域包括支援	地域包括支援センター運営事業		専門知識を持った保健師、社会福祉士、主任ケアマネジャーを配置し、住民の各種相談を受けて必要な制度や機関につなげた。また、要支援認定を受けた方のケアプラン作成、居宅介護支援事業所のケアサービスを提供する地域：水沢地域（愛宕・田原・藤里・伊手・稻瀬）		○				

No.	担当課	部門	事業名等	事業分 大区分 中区分	地域包 括支援 センタ ーみず さわ中 央	相談内容	内 容			重点項目 (★)
							新規 事業	地域 福祉 活動 計画	登場 強化 経営 計画	
(単位：件)										
						相談内容	項 目	総件数	案件数	
						介護予防に関する相談		135	62	
						介護保険に関する相談		322	154	
						権利擁護に関する相談		6	3	
						高齢者虐待に関する相談		15	5	
						包括的・継続的ケアマネジメントに関する相談		68	25	
						福祉事業に関する相談		1	1	
						保健事業に関する相談		0	0	
						その他総合相談		340	151	
						合 計		887	401	
(事業実施回数)										
						個別地域ケア会議	回	5		
						認知症カフェ開催	回	12		
						プラン作成数	項 目	総 数	包括作成数	(単位：件)
						介護予防ケアマネジメントプラン作成数		1,505	673	委託数
						介護予防支援プラン作成数		1,895	714	832
						家族介護教室				1,181
						第1回 期 日 11/14 16名参加				
						テーマ 「みんなで見守ろう高齢者のひとり歩き(徘徊)」				
						「みんなで見守る特殊詐欺にだまされない」				
						第2回 期 日 12/7 25名参加				
						テーマ 「そのときのために～知つて安心 相続・遺言・後見～」				
						第3回 期 日 1/24 22名参加				
						テーマ 「心身ともに健康でいるために」				
						令和5年度奥州市人々のつながりに関する基礎調査に係る実態把握調査				
						対象世帯 独居世帯 62世帯 二人世帯 28世帯				
						計 90世帯 (延べ回数 訪問 34回、電話 50回、その他 6回)				
						相談内容	項 目	総件数	案件数	(単位：件)
						地域包 括支援 センタ ーえ し南				
						介護予防に関する相談		138	58	
						介護保険に関する相談		520	184	
						権利擁護に関する相談		13	0	
						高齢者虐待に関する相談		50	7	

No.	担当課	部門	事業名等			内 容						重点項目(★)
			大区分	中区分	事業名	新規事業	地域福祉活動計画	発展強化経営計画				
						包括的・継続的ケアマネジメントに関する相談 福祉事業に関する相談	96	12				
						保健事業に関する相談	4	3				
						その他総合相談	0	0				
						合 計	586	182				
						事業実施回数	1,407	446				
						個別地域ケア会議	7					
						認知症カフェ開催	12					
						プラン作成数						
						項目	総 数	包括作成数	委託数			(単位：件)
						介護予防ケアマネジメントプラン作成数	1,230	541	689			
						介護予防支援プラン作成数	1,068	532	536			
						家族介護教室						
						認知症になつても安心して暮らせる地域をめざして ～認知症について正しく理解しましょう～						
						第1回 期日 10/13 14名参加						
						第2回 期日 10/27 17名参加						
						介護保険で使える福祉用具ってなあに ～介護保険を使うには？～						
						第3回 期日 11/10 17名参加						
						令和5年度奥州市人々のつながりに関する基礎調査に係る実態把握調査						
						対象世帯 独居 45世帯 二人世帯 17世帯						
						計 62世帯 (延べ回数 訪問 34回電話 26回その他 5回)						
52	生活応課					市民の相談を真剣に受け止める体制づくり						
53	こども福祉課					放課後児童クラブ運営事業						

No.	担当課	部門	事業名等			内 容	重点項目(★)
			大区分	中区分	新規事業		
						水沢地域 8施設／定員 520人	
						施設名 定員 開設日数 利用人員	
			水 沢	65人	250日	11,512人	
			みなみ	90人	293日	17,448人	
			ときわ	90人	293日	15,422人	
			佐倉河	65人	287日	10,176人	
			真 城	65人	250日	9,522人	
			姉 体	65人	250日	11,384人	
			羽 田	40人	250日	6,749人	
			黒 石	40人	250日	4,175人	
			江刺地域 1施設／定員 60人				
			施設名 定員 開設日数 利用人員				
			江刺愛宕	60人	250日	11,911人	
			胆沢地域 2施設／定員 70人				
			施設名 定員 開設日数 利用人員				
			胆沢笠森	45人	252日	7,587人	
			南都田	25人	293日	4,740人	
			前沢地域 1施設／定員 135人				
			施設名 定員 開設日数 利用人員				
			古城	135人	293日	23,349人	
			古城放課後児童クラブ指定事業				
			衣川地域 2クラブ／定員 60人				
			施設名 定員 開設日数 利用人員				
			衣川	30人	292日	4,737人	
			衣里	30人	250日	4,610人	
			放課後児童健全育成事業				

No.	担当課	部門	事業名			内 容	重点項目(★)
			大区分	中区分	事業名		
54	こども福祉課	-	福祉教育推進事業	-	市内の教育・保育施設と連携し、児童生徒の福祉教育を推進した。地域交流やボランティア活動を通じ、「広める」「広める」「広げる」ことを目的として福祉推進校を指定した。「集める」「触れる」「手伝う」「調べる」「調べる・体験する」「発表する」「その他の」の項目から活動内容を選択してもらい、事業費補助金を交付した。	《合 計》	○ ○
55	こども福祉課	-	こども食堂運営推進事業	-	市内各学校等の総合学習支援学校に対し、当事者の講話、点字体験学習、キャッփハンドイ体験学習、身近にある課題への気づきを促し、身近にあらざる授業を実施した。地域にある公共施設を施設とした。障がい当事者の学びを支援する環境と方法を提案し、充実した福祉の学びになるようサポートした。障がい当事者の学びに取組みやすい環境と方法を提案し、充実した福祉の学びになるようサポートした。障がい当事者の講話、点字体験学習、キャッփハンドイ体験学習の発想と手法を知る機会として、教職員、学校運営協議会委員、民生委員・児童委員、ボランティアを対象として、セミナーを開催した。	《合 計》	○ ○

No.	担当課	部門	事業名等	大区分	中区分	内 容					重点項目 (★)
						新規事業	地域福祉活動	発展強化計画	経営計画	経営計画	
			支援実績（食材提供）			開催回数	名称	実施団体等	参加人数		
						隔月	みんなの食堂	みんなの家	50人		
						月1回	日高こども食堂にじ	学校法人日高学園	50人		
						月2回	奥州家族食堂	奥州わらすば	100人		
						不定期	しあわせ食堂	奥州いさわ会	200人		
						月1回	子どもひろば	食を育む会	20人		
						月1回	みんなはじ食堂	みんなはじ実行委員会	100人		
						月1回	堤尾こども食堂	堤尾自治会	50人		
						不定期	胆沢愛宕	あたごを愛する女性の会	100人		
						月1回	モグモグときわKIDS	常盤地区振興協議会	50人		
			運営支援								
			ボランティア・運営スタッフ向け研修会の開催								
							・令和5年度こども食堂研修会	令和5年度こども食堂（地域食堂）に関心のある方を対象に、食堂の立ち上げから運営をスムーズに進めるためのノウハウや、そこで活躍するボランティアの育成を目的に実施した。			
							開催 12/17 参加人数 19名	令和5年度こども食堂支援事業「高校生キッズプラットフォーム事業」のノウハウや、そこでの活動により、地域の担い手やボランティア育成を目的として、高校生を主体とした「こども食堂（地域食堂）」を開催した。			
							開催 3/2 参加人数 70人	地域に出向き、こども食堂の立ち上げや運営に関する説明を行った。			
								ボランティアを受け入れる子ども食堂とのコーディネートを行った。			
			ボランティア育成								
			子育ての支援を受ける人と支援を行える人が会員登録をし、有償で相互援助を行った。								
						会員数					
						おねがい会員(支援を受けたい人)	761名	まかせて会員(支援を行える人)	290名		
						どちらも会員	50名	合 計	1,101名		
						年間活動件数					
						保育施設（保育所・幼稚園）の保育開始時や保育終了後の子どももの預かり及び預かりに係る送迎		件 数			
						保育施設（保育所・幼稚園）への送迎のみ	231件				
						子どもの預かりに係る送迎	8件				
						放課後児童クラブへの迎えのみ	132件				
						学校の放課後の子どもの預かり	24件				
56	こども福祉課	-	ファミリーサポートセンター事業			活動 内 容				○ ○	

No.	担当課	部門	事業名等			内 容	重点項目(★)
			大区分	中区分	新規事業		
57	こども福祉課				サードプレイス事業	<p>冠婚葬祭や他の子どもの学校行事の際の子どもの預かり 買い物等外出の際の子どもの預かり 病児・病後児の預かり 保護者の短時間・臨時の就労の場合の援助 子どもの習い事の送迎 保護者の病気・その他急用の場合の援助 複数の子どもがいる場合の援助（きょううだい） 登校前・放課後児童クラブ前の預かり リフレッシュ</p> <p>合 計</p> <p>おうしゅう福祉だよりへ会員募集の記事を掲載した。 市民向け講習会を開催した。 会員交流の場（ファミカフェ）を開催した。 水沢 7/6、11/11に設置 前沢 10/16に設置</p> <p>放課後児童クラブ施設または奥州市総合福祉センター地域交流室を、来就学児と保護者、不登校児童と保護者等の居場所として活用した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 研修会の開催 令和5年度「こども・地域の居場所づくり研修会」の開催 「居場所」の意義や設置の必要性、他市町村の状況等を知ることで、よりよい連携につながるよう研修を実施した。 開催 7/14 参加人数 47名 市こども家庭課との情報共有 モデル学区を設定し、試行的に実施 水沢南小学校区→みなみ放課後児童クラブ、常盤小学校区→ときわ放課後児童クラブ、水沢小学校区→奥州市総合福祉センターで実施した。 奥州市総合福祉センター地域交流室へのWi-Fi 設置 	★
58	介護事業課				居宅介護支援事業	<p>介護保険の認定を受けた方のケアプラン作成を行い、介護保険制度を円滑に利用できるよう支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 介護給付 月平均利用人数 122.7人 年間件数 1,473件 目標値 1,512件・達成率 97.4% 介護給付費 23,586,080円 目標値 23,851,000円・達成率 98.9% 介護予防支援 月平均利用人数 47.8人 年間件数 574件 (介護予防ケアマネジメント含む。) 	

No.	担当課	部門	事業名等	内 容			
				大区分	中区分	新規事業	地域福祉活動計画
				目標値 528件・達成率 108.7%	・介護予防支援費 2,665,260円 (介護ケアマネジメント支援費含む。) 目標値 2,385,000円・達成率 111.8%		
			介護保険の認定を受けた方、障がい者、要介護認定で事業対象者となつた高齢者へホームページ訪問し、家事支援や身体介護を行い、在宅生活を継続的に支援した。				
			介護保険訪問介護事業	サービス提供日数 提供件数 月平均利用人数 月平均提供件数 1日平均提供件数 介護料収入 介護予防料収入	365 日 18,379 件 199 人 1,532 件 52 件 36,849,976 円 31,133,961 円	要介護 9,633 件、要支援 8,746 件 要介護 79 人、要支援 120 人 要介護 803 件、要支援 729 件 要介護 27 件、要支援 25 件 目標値 49,777,000 円 達成率 74.0% 目標値 34,268,000 円 達成率 90.9%	
			障がい者訪問介護事業	提供件数 月平均利用人数 月平均提供件数 事業収入	6,589 件 86 人 550 件 30,486,775 円	目標値 31,613,000 円 達成率 96.4%	○
			介護事業課 介護保険サービス				

No.	担当課	部門	事業名等		内 容	重点項目 (★)		
			大区分	中区分				
60	介護事業課	介護保険サービス	胆沢デイサービスセンター	介護保険事業 通所介護事業	1日の利用定員18人 介護保険の認定を受けた方に対して、デイサービス事業（通所介護・予防通所介護事業）を行った。	開設日数 月平均利用人数 延利⽤⼈数 1日平均利⽤⼈数 介護予防・総合事業（要支援） 介護予防料収入 介護給付（要介護） 介護料収入 介護料等 食費等	257日 264人 3,177人 12人 861人 4,154,796円 2,316人 19,741,699円 2,517,100円	要支援 目標値 達成率 79.9% 要介護 目標値 達成率 95.1%
61	介護事業課	介護保険サービス	小規模多機能型居宅施設「あすも」	小規模施設において、「通い」を中心として、短期間の「宿泊」や利用者の自宅への「訪問」を組み合わせ、家庭的な環境と地域住民との交流の中で日常生活上の支援や機能訓練を行った。	○	開設日数 月平均利用人数 延利⽤⼈数 1日平均利⽤⼈数 介護予防・総合事業（要支援） 介護予防料収入 介護給付（要介護） 介護料収入 介護料等 食費等	102日 100人 1,209人 12人 766人 3,558,369円 443人 3,028,656円 739,900円	要支援 目標値 達成率 80.3% 要介護 目標値 達成率 49.8%

No.	担当課	部門	事業名等		内 容	新規事業 実績	地域福祉活動計画 実績	発展強化経営計画 実績	重点項目(★)
			大区分	中区分					
					利用登録定員 24 人 1 日の定員 通所 12 人、宿泊 5 人				
			月平均登録者数		月平均利用人数 通い 3,027 人 泊り 1,417 人 訪問 3,946 人				
			月平均利用人数		月平均利用人数 通い 252 人 泊り 118 人 訪問 329 人				
			地域密着型介護料		目標値 54,019,000 円 達成率 89.0% 目標値 10,492,000 円				
			利用料等収入		7,987,940 円 達成率 76.1%				
					認知症対応型グループホームと認知症対応型デイサービスセンターの複合型施設の経営を行った。				
					ぬくもりのある家庭的な雰囲気の中で、利用者一人ひとりの個性を尊重し、安心して生活を送ること ができるような環境作りに努めた。また、地域に根ざした施設として、地域住民との交流、外出を通して、社会とのつながりを大切にし、いきいきとした生活を送られるよう支援した。				
			グループホーム		グループホーム 定員 9 人 × 2 ユニット 18 人 延利用人数 210 人 月平均利用人数 17.5 人				
					目標値 61,449,000 円 達成率 95.7% 目標値 21,666,000 円 達成率 99.1%				
			いさわ いさわ 高齢者 複合施 設「じ あん ゆあん の園」		一人ひとりの個性に合わせたサービスの提供をめざし、楽しむ、学ぶ、運動する、出かける等のメニューを組み入れ、認知症の進行を遅らせることができるよう支援した。また、認知症の進行に伴い、家族の不安に対し相談、援助を行い、在宅生活を継続できるよう支援した。居宅介護支援事業所との連携を図り、利用者の確保に力を入れた。				
62	介護事業課	介護保険サービス	デイサービスセンター		認知症対応型デイサービスセンターじゅあんの園 1 日の利用定員 12 人 開設日数 259 日 延利用人数 2,017 人 月平均利用人数 168.1 人				
					1 日平均利用人数 7.8 人 介護料収入(予防含) 24,343,385 円 食費等 1,441,100 円 目標値 25,707,000 円 達成率 94.7% 目標値 1,515,000 円 達成率 95.1%				